

江南区自治協議会 令和3年度 第2回 まちづくり部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和3年度 第2回まちづくり部会
- 日時：令和3年5月27日（木）午後3時00分～午後4時00分
- 場所：江南区役所 201 会議室
- 出席委員：坂井委員、長場委員、西脇委員、畑野委員、小野委員、小菅委員、遠藤委員、小林委員、伊藤委員、佐藤弘明委員 以上 10 名(欠席：田村委員 以上 1 名)

- 事務局：建設課長、産業振興課長補佐、地域総務課長補佐、地域総務課係長 以上 4 名
- 傍聴 0 名

【審議内容等】

1. 令和3年度のまちづくり部会の取り組みについて

事務局より年間スケジュール案及び江南区の公共交通の現状について説明があった後、今年度のまちづくり部会の取組について意見交換を行った。

<主な意見>

●公共交通の改善に向けた検討について

- ・まずは高齢者の買い物支援といった、困っている人を助けることに焦点をあて、検討する。また、住民バスについても、人口が減少し、利用者が減っていく中でどう維持していくかについても考える必要がある。
- ・各地域が持つ課題と、その対応状況などの情報を集約し共有しながら、解決に向けて部会として何ができるかを検討することが必要。

●自治協・コミ協の活性化について

- ・自治協・コミ協を知ってもらい、地域とコミ協・自治協との接点の持ち方や、地域に積極的に取り組んでもらえるような雰囲気づくりが大切。
- ・地域にとって自治協・コミ協は大きなことを行うイメージがあり、地域が抱える課題を汲み、それを行政に伝えることができるということを知らない。自治会、町内会が抱えている課題がコミ協・自治協に伝われば、それが行政に届きやすくなる。
- ・地域には、自治協やコミ協に、地域が抱える課題といった意見などを寄せてもらうよう PR すると良いのではないかと。

●その他（今後の取り組みについて）

- ・昨年度から「公共交通の改善」について議論をしており、継続して検討することとしているが、まちづくりは公共交通に限ったものではなく、広く考える。地域によって様々な課題があり、部会として解決に向けて行うべきことを検討する。
- ・交流人口を増やすことも、まちづくりに繋がる。

⇒今回、公共交通など所管分野の課題共有を図った。次回の部会では今年度何を行うかについて検討を行う。（公共交通、自治協・コミ協の活性化、ほか主体となる事業）